

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達さぼーとセンター るぼろ		令和 8 年 2 月 1 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・グループの参加人数や活動に応じて部屋を移動し、環境を調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・必要に応じて施設内の専門職員なども日中活動に参加して子どもに関わるようにしています。	・配置基準は満たしているが、利用児の特性によっては不足を感じる場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・視覚支援など子どもに合わせた環境になるよう職員間で話し合っ改善している。	・肢体不自由児が増えているため、トイレや着脱ベッド、温水シャワーの設置が検討課題である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・グループの特性や児の好みに合わせて都度環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		・部屋数に限度があるので時と場合による。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・日々の療育終了後または会議等により職員間で意見交換している。	・それぞれの担当で振り返り改善は行っているが、より共有しやすいように見える化していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・年1回アンケートを実施し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・毎月の職員会議において意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・第三者評価の受審については、引き続き検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		・昨年度よりは改善されているが、定期的な研修の機会は少ないと感じる。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	0	・全員で検討することで、視野が広がったり改めて児について考える機会になっている。 ・支援計画の更新月に支援会議を行い、様々な職員の視点で検討している。	・インフォーマルでの評価が中心となりやすい傾向にある。フォーマルアセスメントについては、さらに経験を積み重ねていきたい。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・会議の中で共有している	・支援に入る職員が変わる事があり、タイムリーに情報共有することが難しい場合がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・必要に応じて、療士士によるアセスメントを活用している。	・インフォーマルなアセスメントが中心になっており、標準化されたアセスメントを確実に実施していくように取り組んでいきたい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・年間で積み上げが出来るよう年間プログラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・季節に応じた遊びや活動を取り入れており、身支度活動やお集まり等はある程度固定化することで定着を図っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・勤務時間にばらつきがあるが時間を作って打合せをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・担当者間で療育終了後や時間を合わせて話し合い、次回に向けて支援の仕方などを共有している。	・職員全員が適切な記録を取れるように取り組んでいくとともに、情報共有についても工夫していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		・連絡帳に記入されていること以外についても、必要な内容は的確に記録していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・モニタリングは他事業所を含め、月に1回子どもの様子を共有しており、6ヶ月に1回支援計画の見直しを行っている。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・職員の人数、また会議の時間により児発管のみの参加が多い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・毎週1回、町が主催するケース会議に参加している。	・医療機関との連携が課題となっている。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	・月1回、医師による巡回指導の中で助言を受けている。	・児童発達支援センターとして、地域の事業所との連携を強化していく必要がある。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・併設のこども園とは、一緒に行事に参加したり、園庭を共有し遊ぶ機会を持っている。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・定期的な親講座、交流会を行っている	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	・支援学校については、引継ぎの会議に出席している。また、保護者を通じて情報提供できるよう療育の報告書を作成している。	・地域の小学校との情報共有も必要と感じている。
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	2	3		・必要を感じており、今後の課題として取り組んでいきたい。

	35	【児童センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	2	・管理者が全体会、相談支援部会参加している。	・事業所の職員が参加できる部会がない。
	36	【児童センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	【放デイのみ】 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・同法人内の相談支援専門員と協力しながら対応している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	・父親の会や保護者交流会を企画しているが、きょうだいの交流企画は実施できていない。	・年間の予定を計画的に保護者に伝え、参加しやすいように配慮していくとともに、きょうだい企画も検討していきたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月るぼる便りを配信している	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		・策定しているが、ご家族への説明は十分とは言えないため、より安心して利用してもらうために周知の方法を検討する。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・災害に備えたBCPは策定している。 ・避難訓練は、施設全体で毎月実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・てんかん発作など必要な対応を一覧にし、常に更新して誰でも対応が出来るようにしている	

非常時等の対応	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を策定して、年間を通して各避難訓練を実施している。	・不審者対応訓練や引き渡し訓練などの方法をさらに検討していきたい。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・災害時の緊急連絡（持ち出し）用紙、引き渡しカードの作成を行っている。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・毎月1回リスクマネジメント会議を開催して施設全体で共有し、安全対策への意識を高めている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待防止委員会を設置し、研修や定期的なセルフチェックを行うなど、虐待防止に努めている。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		